

ベンチャー企業が成功するかどうかは、数多くのバンドの中でなぜビートルズが英国のリバプールから活動を開始して一九六〇年代に世界的大成功を収めたかを考えるとよい。

第一に、ビートルズ草創期のメンバーであるジョン、ポールらの

一流のバンドになるんだという強烈な上昇志向が成功の出発点である。草創期は離合集散を繰り返す混乱期でもある。だからこそ、ベンチャー経営も出発点において強い一流企業への上昇意思が絶対不可欠である。

第二に、あまり知られていないがデビュー前のビートルズは

ドイツのハンブルクで毎日十時間の過酷な生演奏活動を行っていた。この時期にバンドの音楽的基礎が築かれ、メンバーの強力な人間的結束ができた。ベンチャーも創業期に本業において社長自らが、現場で徹夜の連続というハードな作業を乗り越えたと経験をもちたいと本物にはな

ビートルズとベンチャー創業

化することの両方が重要だ。

第三に、ブライアン・エブス・ティンという優秀なマネージャーとの出会いである。ベンチャーもよい幹部や投資家と出会い、成長戦略に磨きをかけ、どこかで大きくステップアップを図らねばならない。

第四に商業化である。彼は田

舎の不良グループにスーツを着せて六二年にビートルズをデビューさせ、商業ベースに乗せた。良い音を出すバンドも、世界的に成功するには一般市場で売れる商品として仕上げる必要がある。優秀な技術ベンチャーも成功するには、売れる商品を仕上げることで、製造販売して事業

それ以降の八年間にわたるビートルズの活動と事業の成功は有名だ。成功の種は創業期にまかれるものだ。ときに子供とビートルズのDVDを見ながら創業ベンチャーの成功を思う。
(日本テクノロジーベンチャー
パートナーズ投資事業組合代表
村口 和孝)